

信用金庫の預金増減状況（2026年3月末）

—信用金庫の定期性預金残高に増加の兆し—

ポイント

- 信用金庫別の前年同月末比の預金増減推移は、2026年1月以降は預金が増加する信用金庫数が減少する信用金庫数をやや上回って推移している。
- 信用金庫別の前年同月末比の定期性預金増減推移では、2025年11月以降は増加する信用金庫数が減少する信用金庫数を上回って推移している。
- 信用金庫別にみた2021年度から2025年度までの5年間における定期性預金の前年度末比増減率の分布の推移をみると、2025年度は増加に転じた信用金庫が多く、2%超増加した信用金庫が急増している。

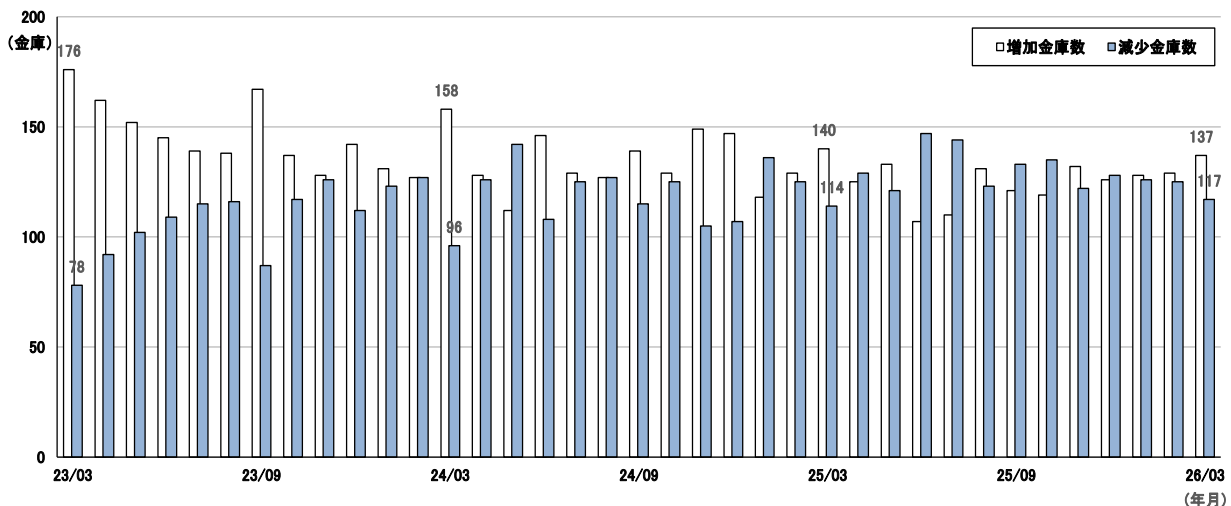
(注) 本稿における2026年3月末計数は速報値であるため、今後、確報値で修正されることがある。

1. 預金の増加金庫数と減少金庫数の推移

全国信用金庫の預金残高は、コロナ禍以降、前年度末比でみた伸び率の鈍化が続いており、2025年度末は前年度末比0.2%増と、前年度と同水準にとどまった。そこで本稿では、信用金庫別に、前年同月末比でみた預金の増減推移を確認する（図表1）。

信用金庫別にみると、2025年度は総じて前年同月末比で預金が増加する信用金庫が増加傾向にあった。ただし、2026年1月以降は預金が増加する信用金庫数が減少する信用金庫数をやや上回って推移している。もっとも、増加金庫数が上回っていても、残高の増加幅が小さい、または一部金庫の残高減少幅が大きい場合には、業界全体の預金伸び率は鈍化しうる。

(図表1) 預金の増加金庫数と減少金庫数の推移



(備考) 信金中金総研作成

